

第6章 実効性のあるBCPにするための具体的方策

病院BCPを作成し、継続的に発展するためにはPDCAサイクルの運用が不可欠である。そのためには計画（P）や運用（D）について点検（C）と評価・是正（A）することが重要である。平時からBCPの点検と災害対応要員の育成・研修が不可欠である。

1，平時の点検と改善活動

○病院BCPの点検

チェックリストを用いて病院BCPについて自己点検することができる。

平成25年9月4日厚生労働省指導課長通知「病院におけるBCPの考え方に基づいた災害対策マニュアルについて」（医政指発0904第2号）としてすでに発布済み（第8章資料）

○災害拠点病院の要件についての点検

チェックリストを用いて災害拠点病院の要件について自己点検することができる。

「災害拠点病院充実度評価票」（第8章資料）

○病院の立地のハザードマップでの被害想定と対策

チェックリストを用いて病院の立地のハザードマップでの被害想定と対策について自己点検することができる。

「病院立地とハザードマップ、地域防災計画等の関連についての評価のためのチェックリスト」（第8章資料）

2，コアメンバーの委嘱

病院BCPの整備、維持のためには核となる職員（災害コアメンバー）が不可欠である。この職員は病院の全職種から構成されていることが望ましく、病院管理者や災害対策委員会等から公式に委嘱されていることが望ましい。これらの職員は病院BCPの整備、維持に加え、院内外の研修会や訓練を企画、立案し、訓練コントローラーとして訓練を実施する。

3，災害研修、訓練の企画・実施

病院職員に対する災害研修は不可欠である。病院職員全員を対象にするものに加え、病

院幹部や災害対策委員会メンバーを対象にする研修会、事務部門を対象とする研修会が必要となる。災害訓練も、総合実動訓練に加え、机上シミュレーションや部門訓練、たとえば本部訓練や情報伝達訓練などを組み合わせて行う。

さらに、地域の病院や行政、消防、警察、自衛隊等と連携した訓練の実施も必要となる。いずれの訓練も、前述の災害コアメンバーが不可欠である。